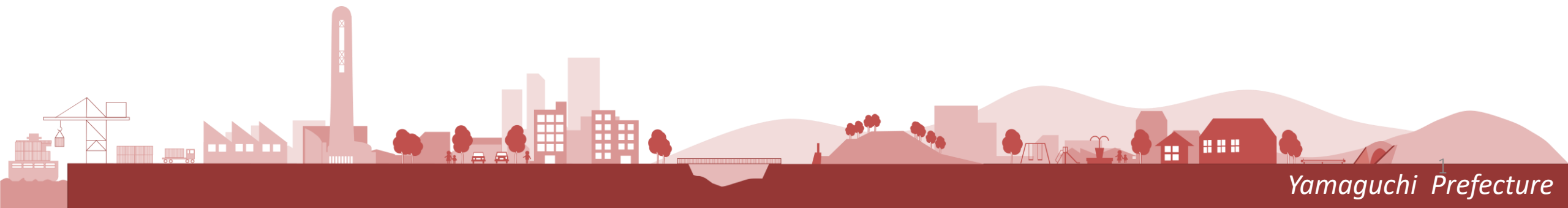


やまぐち群マネ推進チーム(YGT) 第1回 定例会

令和8年5月29日(金)
山口県 土木建築部
技術管理課 建設DX推進班



01 群マネとは？

02 YGTの位置づけ

03 東にできる業務を考える

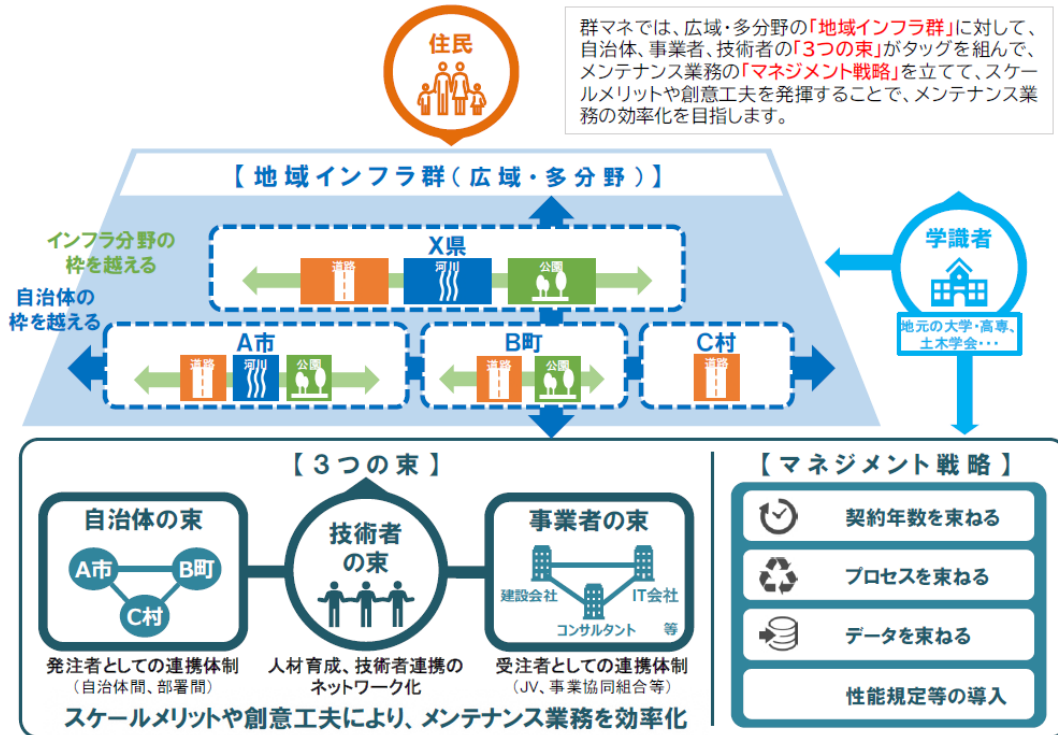
群マネとはなにか？

地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）

道路・河川・公園・上下水道など複数・多分野のインフラを「群」として捉え、行政区域や分野に拘らず効率的・効果的にマネジメントする取り組み

背景

- **技術系職員の不足**
- **社会資本の老朽化加速**
- **個別管理では持続困難**

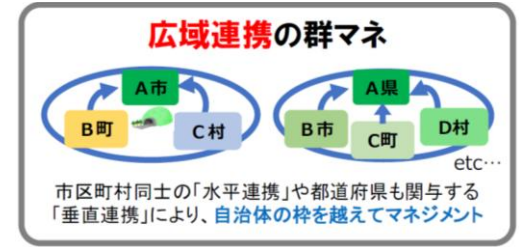


群マネの2つの軸

広域連携

行政区域を越えた連携

- 水平連携：市町同士
- 垂直連携：県＋市町



多分野連携

分野横断のマネジメント

- 道路＋河川＋公園 等
- 点検・設計・工事を束ねて発注



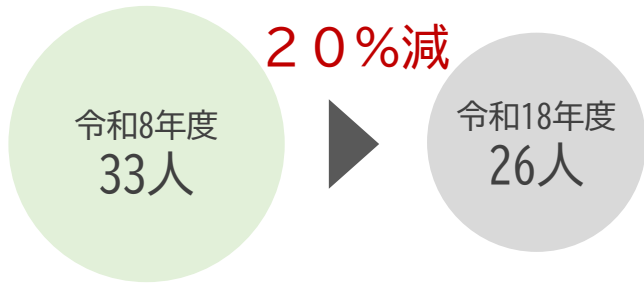
国交省・「群マネの手引き Ver.1（群マネ入門超百科）」を一部抜粋・加工 <https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/gunmane.html>

本当にありえる10年後の未来（ある土木建築事務所の場合）

推計の条件

- 将来の配置として、所長や技術次長、課長、班長などの役職は必ず職員を配置

所長	企画主幹	維持管理課長	工務1課課長		工務2課課長				港湾課課長
次長	企画主査	維持班長	工務1-1班長	工務1-2班長	工務2-1班長	工務2-2班長	工務2-3班長		港湾課班長
検査主幹		担当	担当	担当	担当	担当	担当	担当	担当
			担当	担当	担当	担当	担当	担当	
			担当	担当	担当	担当	担当	担当	
			担当		担当	担当	担当	担当	
			担当			担当	担当	担当	
			担当				担当	担当	



そもそも今の組織体制で成り立つのか？

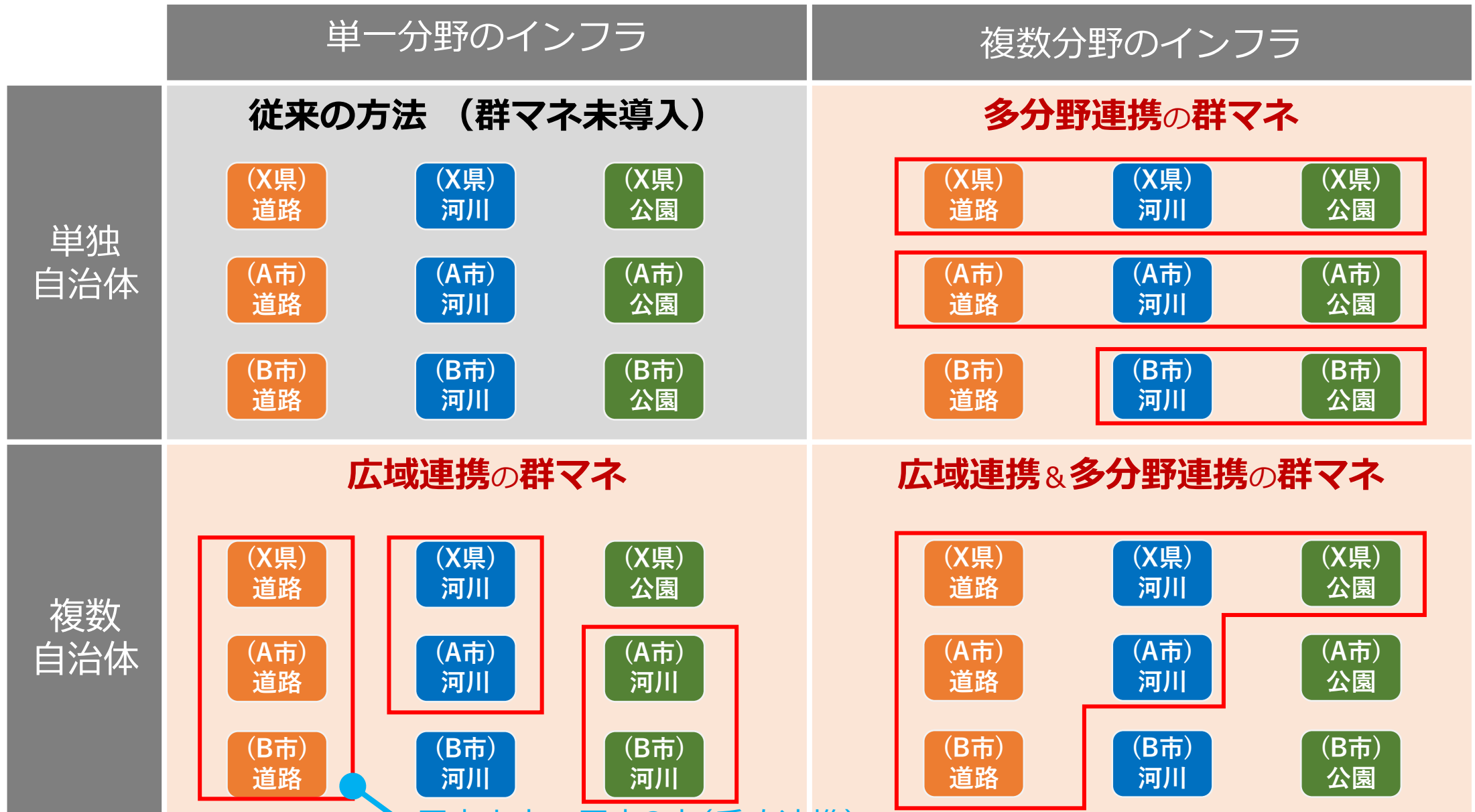
班長が課長の仕事もする？
(課長ポスト減)

課長が班長の仕事もする？
(班長ポスト減)

企画主幹が企画主査の仕事もする？
(企画主査ポスト減)

各課長・班長が別班の検査をする？
(検査監ポスト減)

人員が減っても業務の質を落とさないための手段の一つとして群マネが必要



周南土木+周南3市(垂直連携)

河川堤防と堤防周辺の道路の
草刈りをまとめて実施



県道と市道の除雪を
まとめて実施



まちづくりと道路を
一緒に考え、一緒に整備



河川と道路の見える化システムを
まとめて整備・管理



インフラの管理と魅力発信を
まとめて実施



事務職だけでなく技術職も一緒に
全職員でリクルート活動

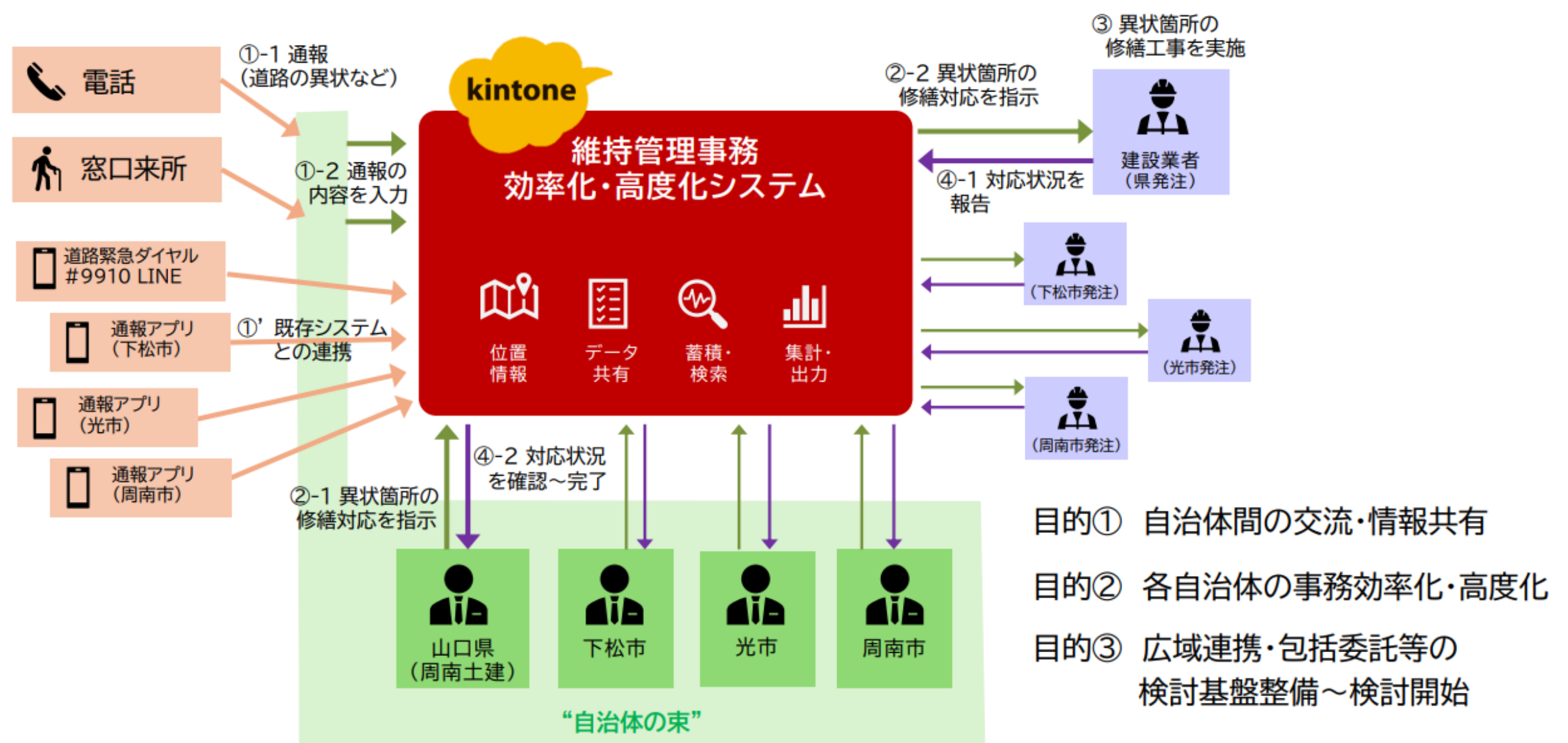


 県が、市町を助ける?? 県の仕事を市町にお願いする??



- ☑ 県と市町は、対等な立場！（上下関係は無い。）
- ☑ それぞれに異なる役割があり、相互に連携して分担する！

県と3市で**共同利用**可能な「道路維持管理事務効率化・高度化システム」を開発





持続可能な維持管理

- **限られた人員で質を確保**
- 予防保全型の徹底
- 県内技術力の底上げ



効率化・コスト縮減

- 分野横断の発注統合
- 複数年契約による平準化
- 重複業務の統廃合



住民サービスの向上

- 修繕・補修対応の迅速化
- インフラ品質の地域間均一化
- 住民要望への対応力強化

従来のやり方に捉われず、徹底的に業務を効率化することが最重要課題

01 群マネとは？

02 YGTでやりたいこと

03 東にできる業務を考える

YGTを設置した目的と位置づけ

目的

- 事業課横断で群マネを推進するためのチームを立ち上げ、政策・技術・データ・維持管理など多様な視点を結集
- 組織の縦割りに縛られず、共通課題の把握や解決策の議論・協議を迅速に行える体制を整える

山口県建設DX推進連絡協議会

建設業界
学識経験者
県等

2022.8.18設立
全17回開催

土木建築部

決定機関

建設DX推進会議
[部長・理事・部次長・審議監・本庁各課長等]

部全体の方針・実施テーマ・体制など

提案
報告 ↑ ↓ 指示

検討・実行機関

◇決定事項を部内全体で情報共有

やまぐち群マネ推進チーム(YGT)
全課

BIM/CIMの推進T
道整・道建・都計・砂防・河川・港湾・技管

点群データ利活用研究会
都計・道整・砂防・河川・技管

...

(必要に応じて随時立ち上げ)

◇各メンバーが、主体的に検討・実行

提案 ↑
新規テーマ
内容改善など

建設DX推進班

事務局

提案 ←
照会 →

情報発信

活用促進 ↓ ↑ 提案

部内全所属の職員

◇共有された情報をもとに、
誰でも改善案等を提案できる

「短期的に正解を出す取り組み」ではなく、

「複数の立場・知見を持ち寄りながら、よりよい判断につながる選択肢を見つける取り組み」としたい

- まずは「課題の共有 + 試行テーマの設定」までを目標とする
- YGTは「全体調整・横断議論の場」として位置づけ、個別施策の最終判断・実装は所管課主体で実施
- 広域×多分野連携は将来像として整理し、まずはエリアや分野を限定して、できることから検討を進める

01 群マネとは？

02 YGTでやりたいこと

03 **束**にできる業務を考える

- 二度手間だと思っていること、
本当はまとめたいと思っていること等 はないですか？

例えば…

- 日常業務が「分断・重複」している

- ・ 道路、河川、砂防など分野ごとに似た業務（巡視・通報対応・帳票作成）を別々に実施
- ・ 管理者、所管が違うだけで、同じエリアを何度も回っている
- ・ 横断的に見ればまとめれそうだが、検討する場がない

- 分離分割発注の負担

- ・ 250万円を超える専門工事については原則分離発注となっている
- ・ 掘削工事とのり面工は同じ工事で実施したほうが調整も簡単で効率が良い
- ・ 上限金額の引き上げが難しいのであればJV形式で発注する等はできないか？

■ 各課が抱える維持管理業務を見ながらまとめられるものがないか考える

維持管理・補修業務の実態調査		発注形態			予算		備考（自由記載）	所管課					
業務内容	分類	工事	委託	直営	単独	補助		技術管理課	道路整備課	道路建設課	都市計画課	砂防課	河川課
道路巡視	巡視								●				
道路維持管理・補修（草刈り、小規模な舗装補修等）	維持								●				
道路施設点検（橋梁、カルバート）	点検								●				
道路施設点検（トンネル）	点検								●				
道路施設点検（シェッド）	点検								●				
道路施設点検（横断歩道橋）	点検								●				
道路施設点検（門型標識等）	点検								●				
道路施設補修設計（橋梁、カルバート）	設計												
道路施設補修設計（トンネル）	設計												
道路施設補修設計（シェッド）	設計												
道路施設補修設計（横断歩道橋）	設計												
道路施設補修設計（門型標識等）	設計												
道路施設補修（橋梁等）	補修								●				
除雪業務	維持								●				
公園巡視	巡視										●		
公園維持管理・補修（草刈り、小規模な補修等）	維持										●		
公園施設点検（園路、遊具、ベンチ等）	点検										●		
公園施設補修設計（園路、遊具、ベンチ等）	設計										●		
公園施設維持・補修（園路、遊具、ベンチ等）	補修										●		
下水施設点検	点検										●		
下水道補修設計	設計										●		
下水維持補修	補修										●		

事前に配布したExcelをご参照ください

■ 道路の巡視・維持管理については年間業務委託にて対応

- ・ 細かな道路維持対応を「束」にして発注



河川や砂防の維持管理も「束」にできない？

(既に実施している事務所もある？)